

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなろクラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	7名は常に配置できる数ではなく応援も含まれており、本来は2～3名配置。支援者としては、親御さんに対しても顔が見えやすい。	少ない職員数だからこそ集団化を図り、指示で動かす支援ではなく、気づきやすい環境を作り、子どもたち主体で動くことを大切に考えている。	支援者の取組みとして、子どもたち主体にしていくための必要な支援、そのツールについて、特性を正しく理解していく必要がある。
2	児童発達支援の卒園児が放課後等デイに繋がっているため、職員集団として相談、協力し合える体制が取りやすい。	特性理解、課題、支援の方向性を定める際などに、1人2人で抱えずに日々テーブルに挙げる(相談する)ようにしている。	特性理解の先での必要な支援の形について、知っていく必要がある。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			